

第2次長崎県地球温暖化（気候変動）対策実行計画について

国内外の地球温暖化問題を取り巻く状況の変化や、本県における影響の拡大・深刻化のおそれを踏まえ、「長崎県地球温暖化対策実行計画」（計画期間：2013～2020年度）の後継計画として、必要な対策を更に進めていくために、「第2次長崎県地球温暖化（気候変動）対策実行計画」を策定し、令和3年度から各種対策に取り組んでいます。

本計画では、「環境にやさしく、気候変動によるこれまでにない災害リスク等に適応した、脱炭素・資源循環型の持続可能な社会が実現した長崎県」を目指すべき将来像として掲げています。

（1）計画期間

令和3年（2021）年度から令和12年（2030）年度までの10年間

※国の計画や社会情勢等を踏まえ、中間年度の令和7年（2025）年度頃を目途に見直しを行う。

（2）削減目標

中期目標：令和12（2030）年度に温室効果ガスを45.2%削減（基準年度2013年度）

長期目標：国が目指す「2050年までに脱炭素社会の実現」を踏まえて、本県においても必要な対策に取り組んでいく。

表1 温室効果ガス排出量の削減目標と現状 （単位：万 t-CO₂）

部門・分野	2013年度 （基準年度）	2019年度（速報値） 現状		2030年度 （目標年度）	
	排出量	排出量	2013年度比	排出量	2013年度比
産業部門	171.7	85.6	△50.2%	80.5	△53.1%
業務その他部門	232.1	136.8	△41.1%	103.6	△55.4%
家庭部門	217.0	138.3	△36.2%	92.0	△57.6%
運輸部門	219.6	202.0	△8.0%	166.5	△24.2%
エネルギー転換部門	129.8	122.9	△5.3%	112.6	△13.2%
廃棄物部門	28.9	34.5	19.4%	28.1	△2.9%
メタン・一酸化二窒素・代替フロン等	79.1	94.2	19.1%	68.9	△12.9%
森林吸収量	—	—	—	△61.3	
合計	1078.2	814.4	△24.5%	590.9	△45.2%

※端数処理の関係上、合計値が合計と一致しない場合がある。

(3) 施策体系

県が取り組む様々な施策について、大きく2つ、温室効果ガス排出抑制等の《緩和策》と、気候変動による影響を予防・軽減するための《適応策》に整理し、緩和策では5つの部門のほか、「部門横断的対策」「温室効果ガス吸収源対策」「二酸化炭素以外の温室効果ガス対策」「共通策」に分け、適応策では7つの分野に整理し、各施策に取り組んでいます。

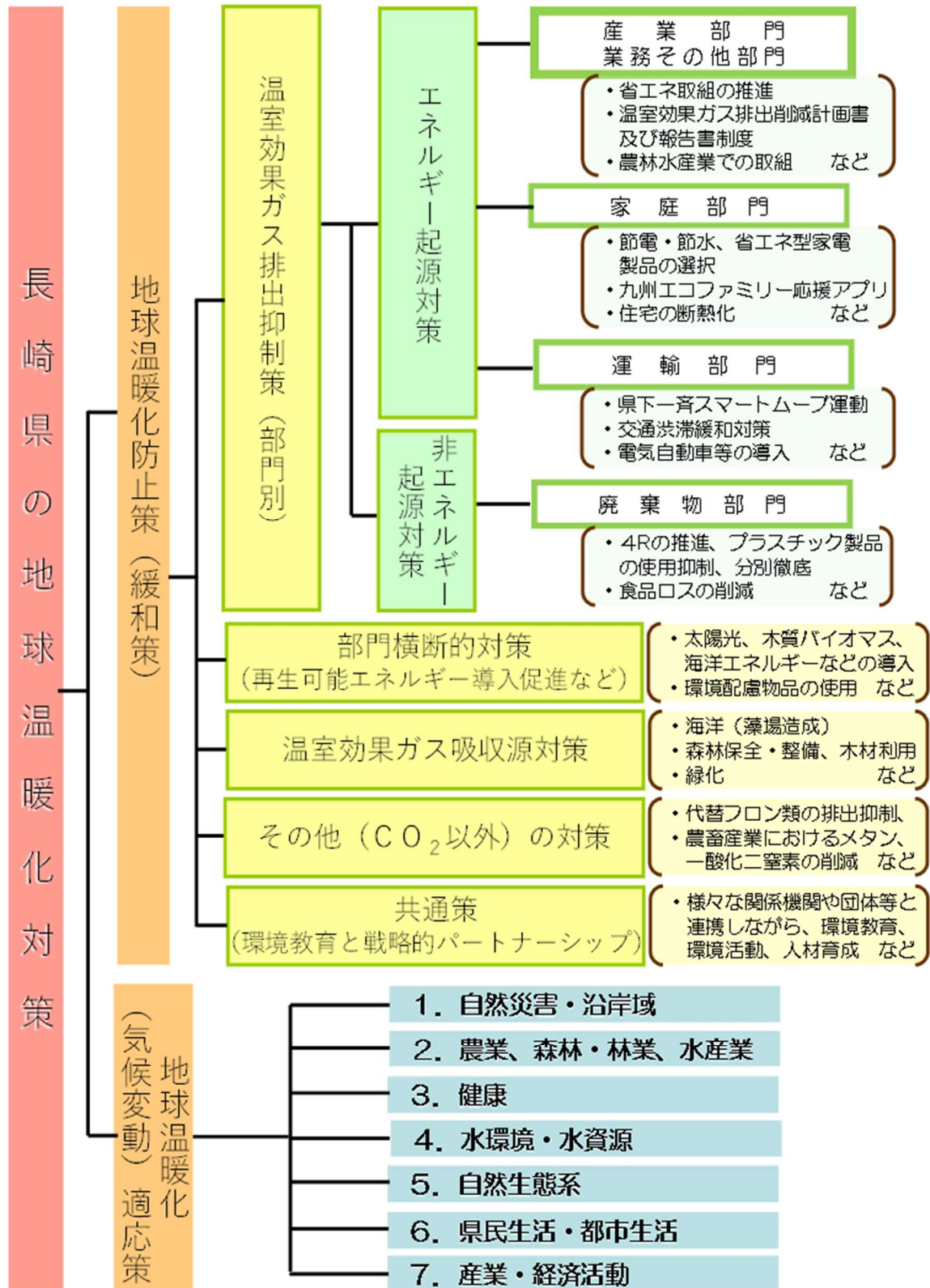


図1 各施策の体系図

(4) 令和3(2021)年度における取組の進捗状況について

本計画の推進にあたっては、毎年度、計画の達成状況等について点検・評価（自己評価）し、本計画の指標の推移のほか、長崎県総合計画、長崎県環境基本計画に掲げられた温暖化対策に関連する指標の推移を把握し、「21 長崎県環境づくり推進本部（幹事会）」、「長崎県環境審議会」において、本計画の進捗状況の評価を行います。

本計画では、主な施策や重点対策について、指標を設定しており、進捗管理はこの指標に係る達成状況の分析により実施しています。当該年度の目標値に達成状況については、以下の区分（「達成」、「順調」、「やや遅れ」、「遅れ」）により評価しています。

＜数値目標の達成状況の評価方法＞

「達成」	令和3年度の目標値を達成した。（累計ベースの目標を設定しており、実績が極めて好調な場合や、目標の最終年度がすでに到来した場合等）
「順調」	令和3年度の目標値を達成した。
「やや遅れ」	令和3年度の目標値は達成できなかったが、基準値からの改善はみられる。（「遅れ」を除くもの）
「遅れ」	令和3年度の目標値を達成できず、基準値と比較しても改善がみられない。（実績が基準値から下回っている。または、令和3年度目標値に対する実績値の割合が70%未満の場合）

以下では、数値目標を＜緩和策＞と＜適応策＞に分けて整理し、評価しています。

＜緩和策＞

令和3年度の各数値目標の評価結果を取りまとめたものを表2に示しています。

緩和策については、主な施策や重点施策の25項目（うち重複1）に数値目標を設定しています。そのうち、令和3年度の実績値が算定中である3項目を除く22項目（うち重複1）の令和3年度の進捗状況は、目標を達成したもの（達成・順調）が13項目（うち重複1）（59%）、目標を達成できなかったものの、改善傾向にあるもの（やや遅れ）が4項目（18%）、目標を達成できず今後の進捗に課題があると考えられるもの（遅れ）が5項目（23%）でした。

表2 令和3年度の各数値目標の評価結果（緩和策）

部門等	数値目標数	評価可能数値目標数	達成・順調	やや遅れ	遅れ
産業・業務 その他	3	2	2	0	0
家庭	5	5	4	1	0
運輸	2	2	1	0	1
廃棄物	2	0	—	—	—
部門横断	6	6	3	2	1
吸収源	3 (重複1)	3 (重複1)	2 (重複1)	0	1
共通策	4	4	1	1	2
合計	25 (重複1)	22 (重複1)	13 (重複1) 59%	4 18%	5 23%

「やや遅れ」の4項目のうち、3項目の達成率は約90%であることから、ほぼ達成している（概ね順調）と考えられ、これらと「達成・順調」の合計が7割を超えていることから、緩和策全体としては概ね順調と考えられます。

一方で、「遅れ」の評価となった5項目の理由等については、表3のとおりで、コロナ禍による影響等が挙げられています。

表3 「遅れ」の評価となった項目の理由等（緩和策）

部門等	指標名	令和3年度実績値 (目標値)	「遅れ」の理由等
運輸	スマートムーブ参加者 (延べ人数)	33,342人 (42,000人)	コロナ禍により、公共交通機関の利用を避ける人が多かったことなどが影響。
部門 横断	長崎県ストップ温暖化 レインボープランの実 践行動項目の実施率	88.3% (94%)	コロナ禍により、イベント開催等の実践行動目標の実施ができなかった企業、団体等があったことが影響。
吸収源	搬出間伐面積	1,707ha (2,218ha)	森林所有者の特定や森林境界の画定に時間を要し、森林整備事業の遅れが生じた。
共通策	身近な環境保全活動に 取り組んでいる人の割合	60.6% (71.4%)	近年の地球温暖化による気候変動や、海洋プラスチックごみによる生態系への影響など環境問題は多様化しているが、取り組んでいない人の約3分の1が「関心がない」と回答しており、実体験型、情報発信型など様々な手法による普及啓発が必要と考えられる。 年代別では、20～40代の各層で取り組んでいないとの回答が多い。これらの年代では「時間がない」「どうしていいかわからない」などの回答も多く、子どもを通じた環境学習や指導者の育成等も必要である。
共通策	地球温暖化防止活動推 進員による普及啓発活 動に参加した県民数 (延べ人数)	26,970人 (35,000人)	コロナ禍により地域イベント等の開催が自粛され、啓発機会が減少したことが原因。

<適応策>

令和3年度の各数値目標の評価結果を取りまとめたものを表4に示しています。

適応策については、重点施策の22項目に数値目標を設定しています。そのうち、令和3年度の実績値が算定中である1項目を除く21項目の令和3年度の進捗状況は、目標を達成したものの（達成・順調）が15項目（71.4%）、目標を達成できなかったものの、改善傾向にあるもの（やや遅れ）が0項目（0%）、目標を達成できず今後の進捗に課題があると考えられるもの（遅れ）が5項目（28.6%）でした。

表4 令和3年度の各数値目標の評価結果（適応策）

分野	数値 目標数	評価可能 数値目標数	達成・順調	やや遅れ	遅れ
自然災害・沿岸域	7	7	4	0	3
農業・森林・林業・水産業	6	5	5	0	0
健康	1	1	1	0	0
水環境・水資源	4	4	1	0	3
自然生態系	4	4	4	0	0
合計	22	21	15 (71.4%)	0 0%	6 (28.6%)

「達成・順調」が7割を超えていることから、適応策全体としては概ね順調であると考えられます。

一方で、「遅れ」の評価となった6項目の理由等については表5のとおりで、土砂災害や大雨、気温・水温の上昇など近年の気候の影響と考えられる要因が挙げられています。

表5 「遅れ」の評価となった項目の理由等（適応策）

分野	指標名	令和3年度実績値 (目標値)	「遅れ」の理由等
自然災害 ・沿岸域	防災推進員の新規養成者数	48人 (120人)	新型コロナウイルス感染症の影響で、防災養成講座の実施回数(2回予定)が1回となったため。
自然災害 ・沿岸域	土砂災害警戒区域内での死者数	3人 (0人)	災害発生時に県民の生命や財産を守るための防災情報を適切に住民へ提供したが、土砂災害による死者3名が発生した。
自然災害 ・沿岸域	避難行動要支援者の個別支援計画策定済み率(累計)	7% (36%)	計画策定に着手した市町において、課題認識のもと精査を行った結果、進捗が遅れた。
水環境 ・水資源	水質汚濁に係る環境基準(海域COD)の達成率	76.3% (86%)	閉鎖性水域である大村湾や有明海等の18地点で環境基準を超過した。
水環境 ・水資源	大村湾の水質(COD75%値平均)	2.4mg/L (2.0mg/L)	大雨による汚濁負荷の流入や日照時間の増加による植物プランクトンが増加しやすい状況にあったことなどにより、CODが高くなったものと推測される。
水環境 ・水資源	諫早湾干拓調整池の水質(COD75%値平均)	8.0mg/L (5.0mg/L)	令和3年4月から6月までのCODが高めに推移したこと、令和4年3月のCODが大幅に上昇したことがCOD75%値を押し上げた。直近3年間の傾向として、3月にCODが上昇、4～6月にかけて高止まりする傾向にある。例年と比較し気温、水温が高い年度が続いており、植物プランクトンの増殖によりCODが高く推移しているものと思われる。

(5) 直近の県内における温室効果ガス排出量（令和元（2019）年度速報値）について

令和元年度の本県の温室効果ガス総排出量は、814.4万トン（二酸化炭素換算。以下、同じ。）であり、基準年度（平成25年度）の排出量1078.2万トンと比較すると263.9万トン減少しましたが、前年度（平成30年度）の排出量790.2万トンと比較すると24.2万トン増加しました（表6、図2）。

表6 長崎県内の温室効果ガス総排出量

（単位：万t-CO₂換算）

種 類	H25年度 (2013年度)	H30年度 (2018年度) (速報値)	R1年度 (2019年度)	増減 (H25年度比)	増減 (H30年度比)
			速報値（構成比）		
二酸化炭素（CO ₂ ）	999.1	698.2	720.1（88.4%）	△279.0	21.9
二酸化炭素（CO ₂ ）を除く6ガス	79.1	91.9	94.2（11.6%）	15.1	2.3
メタン（CH ₄ ）	23.8	22.4	22.4（2.7%）	△1.5	△0.0
一酸化二窒素（N ₂ O）	14.0	13.9	13.9（1.7%）	△0.1	0.0
代替フロン等4ガス	41.3	55.7	58.0（7.1%）	16.7	2.3
ハイドロフルオロカーボン類（HFCs）	35.2	49.8	52.2（6.4%）	17.0	2.4
パーフルオロカーボン類（PFCs）	3.6	3.5	3.5（0.4%）	△0.1	△0.0
六ふっ化硫黄（SF ₆ ）	2.3	2.1	2.0（0.3%）	△0.3	△0.1
三ふっ化窒素（NF ₃ ）	0.1	0.2	0.2（0.0%）	0.1	0.0
合 計	1078.2	790.2	814.4（100.0%）	△263.9 △24.5%	24.2 3.1%

※ハイドロフルオロカーボン類（HFCs）：カーエアコン（冷媒）の使用・廃棄時に排出されるもの。
 ※パーフルオロカーボン類（PFCs）：半導体の製造、溶剤等の使用・廃棄時に排出されるもの。
 ※六ふっ化硫黄（SF₆）：電気設備、半導体の製造・使用・廃棄時に排出されるもの。
 ※三ふっ化窒素（NF₃）：NF₃ガス、半導体の製造時に排出されるもの。
 ※代替フロン等4ガス：冷凍空調機器等の冷媒、半導体の製造等に用いられる4種類のガス
 ※端数処理の関係上、合計値が合計と一致しない項目がある。
 ※増減に係る合計欄の下段の値は、増減率を示す。

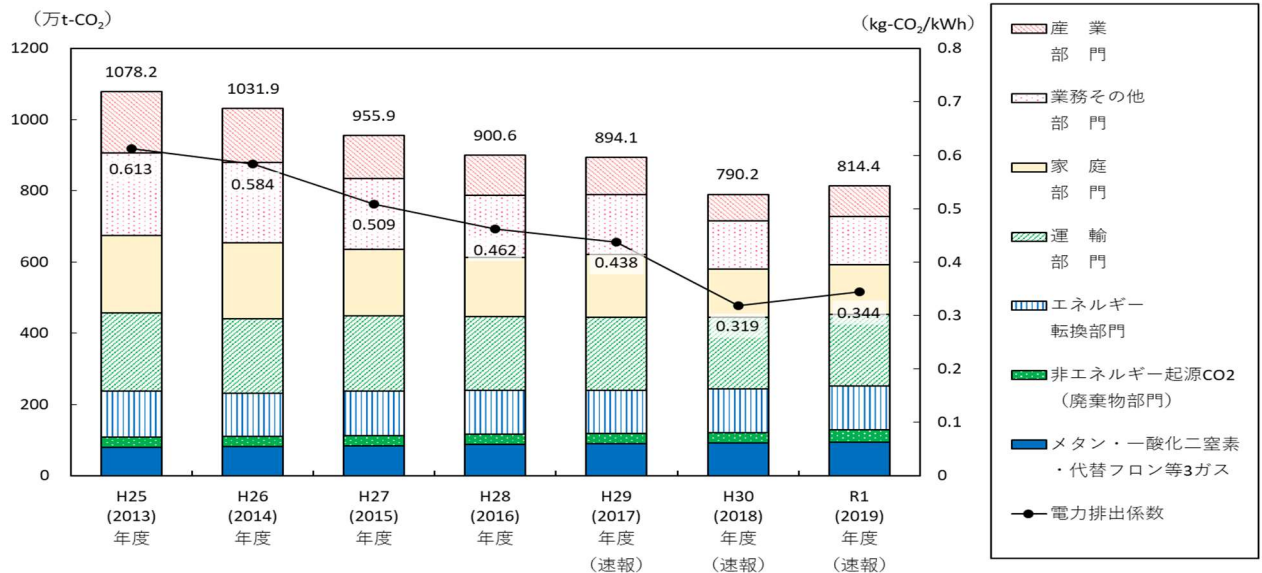


図2 長崎県内の温室効果ガス排出量（万 t-CO₂）及び電力排出係数（kg-CO₂/kWh）の推移

温室効果ガス排出量と密接に関係するエネルギー消費量（エネルギー消費量は廃棄物部門を除く。）は、基準年度（平成 25 年度）から減少傾向にあります（図 3）。

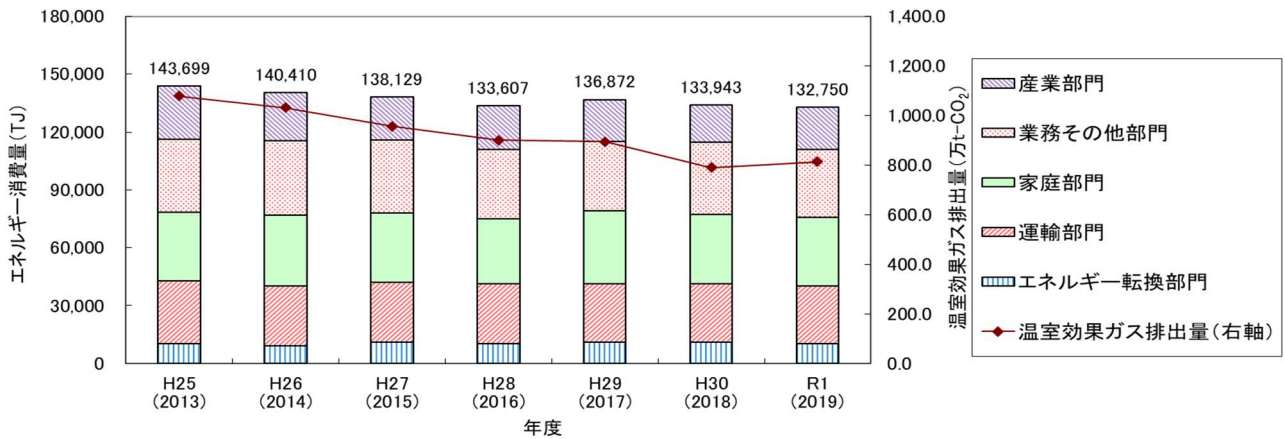


図 3 長崎県内の温室効果ガス排出量とエネルギー消費量の推移

(6) 今後の取組方針

本計画が目指す「環境にやさしく、気候変動によるこれまでにない災害リスク等に適応した、脱炭素・資源循環型の持続可能な社会の実現」のためには、市町、県民や事業者、NPO などの様々な主体による取組とともに、各主体が連携した取組が必要であり、県民総ぐるみで進めることが重要です。

進捗状況の順調・遅れにかかわらず、引き続き担当部局を中心に事業内容の見直し・改善等を行いながら、取組を推進する必要があります。

(参考) 数値目標の進捗状況

<緩和策>

指標		基準年度	R3	最終目標 (年度)	進捗状況
産業・業務その他部門	県庁における電気使用量 (県庁エコオフィスプラン)	目標値		57,993 千 kWh (R7 年度)	—
		実績値	65,887 千 kWh (R1 年度)	算定中	担当課室
		達成率		—	地域環境課
指標		基準年度	R3	最終目標 (年度)	進捗状況
産業・業務その他部門	県内における木材生産量	目標値		260 千 m ³ (R12 年度)	順調
		実績値	168 千 m ³ (R1 年度)	170 千 m ³	担当課室
		達成率		100%<	林政課 森林整備室
指標		基準年度	R3	最終目標 (年度)	進捗状況
産業・業務その他部門	再生可能エネルギー関連事業化件数 (累計)	目標値		1 件 (R4 年度)	順調
		実績値	0 件 (R1 年度)	1 件	担当課室
		達成率		100%	新産業創造課 地域環境課
指標		基準年度	R3	最終目標 (年度)	進捗状況
産業・業務その他部門	九州エコファミリー応援アプリ登録者数	目標値		20,000 人 (R7 年度)	やや遅れ
		実績値	0 人 (R2 年度)	832 人	担当課室
		達成率		41.6%	地域環境課
指標		基準年度	R3	最終目標 (年度)	進捗状況
家庭部門	インターネット・SNS等による長期優良住宅制度の情報発信回数	目標値		1 回 (毎年) (R7 年度)	順調
		実績値	0 回 (R2 年度)	5 回	担当課室
		達成率		100%<	住宅課
指標		基準年度	R3	最終目標 (年度)	進捗状況
家庭部門	省エネ住宅の普及に関する県ホームページ等での情報発信回数	目標値		1 回 (毎年) (R7 年度)	順調
		実績値	0 回 (R2 年度)	計 30 回	担当課室
		達成率		100%<	住宅課
指標		基準年度	R3	最終目標 (年度)	進捗状況
家庭部門	住宅の省エネ化等に関する講習会等の開催回数	目標値		3 回 (毎年) (R7 年度)	順調
		実績値	3 回 (毎年) (R2 年度)	3 回	担当課室
		達成率		100%	住宅課 地域環境課

家庭部門	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	我が家の省エネ日記の提出者数	目標値		1,800人	3,000人（R7年度）	順調
		実績値	1,555人（R2年度）	1,827人		担当課室
		達成率		100%<		地域環境課
運輸部門	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	スマートムーブ参加者（延べ人数）	目標値		42,000人	50,000人（R7年度）	遅れ
		実績値	40,037人（R1年度）	33,342人		担当課室
		達成率		79.4%		地域環境課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	高規格幹線道路・地域高規格道路の供用率	目標値		—	64.2%（R7年度）	順調
		実績値	58.0%（R2年度）	60.2%		担当課室
達成率			—		道路維持課	
廃棄物部門	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	一般廃棄物リサイクル率	目標値		16.4%	20.0%（R7年度）	—
		実績値	15.6%（R1年度）	算定中		担当課室
		達成率		—		資源循環推進課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	1人1日当たりの一般廃棄物排出量	目標値		956g/人・日	900g/人・日（R7年度）	—
実績値		969g/人・日（R1年度）	算定中		担当課室	
達成率			—		資源循環推進課	
部門横断	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	J-クレジット認証量（累計）	目標値		2,600トン	7,800トン（R7年度）	順調
		実績値	1,366トン（R1年度）	3,593トン		担当課室
		達成率		100%<		地域環境課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	海洋エネルギー関連産業における雇用者数	目標値		116人	905人（R7年度）	順調
実績値		3人（H30年度）	168人		担当課室	
達成率			100%<		新産業創造課	

指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
海洋エネルギー関連産業における売上高	目標値		14 億円	101 億円 (R7 年度)	順調
	実績値	1 億円 (H30 年度)	26 億円		担当課室
	達成率		100%<		新産業創造課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
県の機関による環境配慮物品等の調達割合	目標値		100%	100% (毎年度)	やや遅れ
	実績値	99.1% (R1 年度)	99.3%		担当課室
	達成率		99.3%		地域環境課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
ゴミゼロながさき実践計画の実践行動項目の実施率	目標値		90%	90% (R7 年度)	やや遅れ
	実績値	88% (R1 年度)	88.4%		担当課室
	達成率		98.2%		資源循環推進課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
長崎県ストップ温暖化レインボープランの実践行動項目の実施率	目標値		94%	94% (R7 年度)	遅れ
	実績値	91% (R1 年度)	88.3%		担当課室
	達成率		93.9%		地域環境課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
漁場整備面積（累計）	目標値		762 km ²	822km ² (R7 年度)	順調
	実績値	622km ² (H26 年度)	786 km ²		担当課室
	達成率		100%<		漁港漁場課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
搬出間伐面積	目標値		2,218ha	2,900ha (R12 年度)	遅れ
	実績値	2,081ha (R1 年度)	1,707ha		担当課室
	達成率		77%		林政課 森林整備室
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
県内における木材生産量【再掲】	目標値		168 千 m ³	260 千 m ³ (R12 年度)	順調
	実績値	168 千 m ³ (R1 年度)	170 千 m ³		担当課室
	達成率		100%<		林政課 森林整備室

共通策	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合	目標値		71.4%	84% (R7年度)	遅れ
		実績値	62% (H30年度)	60.6%		担当課室
		達成率		84.9%		県民生活環境課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	郷土学習資料を活用している中学校の割合	目標値		100%	100% (毎年度)	順調
		実績値	100% (R1年度)	100%		担当課室
		達成率		100%		義務教育課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	地球温暖化防止活動推進員による普及啓発活動に参加した県民数（延べ人数）	目標値		35,000人	35,000人 (毎年度)	遅れ
		実績値	37,559人 (R1年度)	26,970人		担当課室
		達成率		77%		地域環境課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況	
県立高等学校での環境教育の実施率	目標値		100%	100% (毎年度)	やや遅れ	
	実績値	—	88.1%		担当課室	
	達成率		88.1%		高校教育課 特別支援教育課	

＜適応策＞

自然災害・沿岸域	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	人口千人あたりの消防団員数	目標値		14.7人	14.7人 (R7年度)	順調
		実績値	14.6人 (R2年度)	14.1人		担当課室
		達成率		—		消防保安室 警察本部
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	総合防災ポータルサイトのアクセス件数	目標値		189,700回	189,700回 (毎年度)	順調
		実績値	—	227,151回		担当課室
		達成率		100%<		危機管理課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	海上交通ネットワークの拠点となる港湾の整備率	目標値		26%	83% (R7年度)	順調
		実績値	13% (R1年度)	29%		担当課室
		達成率		100%<		港湾課

自然災害・沿岸域	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	高潮対策による海岸背後地の浸水被害軽減戸数	目標値		262戸	338戸 (R7年度)	順調
		実績値	0戸 (R1年度)	294戸		担当課室
		達成率		100%<		港湾課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	防災推進員の新規養成者数	目標値		120人	120人 (毎年度)	遅れ
		実績値	—	48人		担当課室
		達成率		40%		危機管理課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	土砂災害警戒区域内での死者数	目標値		0人	0人 (R7年度)	遅れ
		実績値	0人 (R1年度)	3人		担当課室
		達成率		—		砂防課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	避難行動要支援者の個別支援計画策定済み率（累計）	目標値		36%	100% (R6年度)	遅れ
		実績値	14% (R1年度)	7%		担当課室
達成率			19%		福祉保健課	
農業、森林・林業、水産業	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	水稻高温耐性品種の導入面積	目標値		4,090ha	5,135ha (R7年度)	順調
		実績値	—	4,098ha		担当課室
		達成率		100%<		農政課 農産園芸課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	病害虫発生予察情報	目標値		月1回発表	月1回発表	順調
		実績値	—	月1回発表 合計12回		担当課室
		達成率		100%		農産園芸課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	老朽ため池の整備促進（着手数）	目標値		—	139箇所 (R7年度)	順調
実績値		88箇所 (R1年度)	106箇所		担当課室	
達成率			—		農村整備課	

農業、 森林・林業、 水産業	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	野生鳥獣による農作物被害額	目標値		170 百万円	120 百万円 (R7 年度)	—
		実績値	208 百万円 (H30 年度)	算定中		担当課室
		達成率		—		農山村振興課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	山地災害危険地区（A ランク）着手数	目標値		734 箇所	794 箇所 (R7 年度)	順調
		実績値	716 箇所 (R1 年度)	750 箇所		担当課室
		達成率		100%<		森林整備室
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
漁場整備面積（累計）	目標値		762 km ²	822 km ² (R7 年度)	順調	
	実績値	622km ² (R1 年度)	786 km ²		担当課室	
	達成率		100%<		漁港漁場課	
健康	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	感染症発生動向調査週報速報の発行	目標値		52 回	52 回 (毎年度)	順調
		実績値	—	52 回		担当課室
		達成率		100%		感染症対策室
水環境・水資源	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	水質汚濁に係る環境基準（海域 COD）の適合率	目標値		86%	86% (R7 年度)	遅れ
		実績値	86% (H27~R1 年度 度平均値)	76.3%		担当課室
		達成率		88.7%		地域環境課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	大村湾の水質（COD75%値平均）	目標値		2.0mg/L	2.0mg/L (R7 年度)	遅れ
		実績値	2.0mg/L (R1 年度)	2.4mg/L		担当課室
		達成率		—		地域環境課
	指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
	諫早湾干拓調整池の水質（COD75%値平均）	目標値		5.0mg/L	5.0mg/L (R7 年度)	遅れ
実績値		8.6mg/L (R1 年度)	8.0mg/L		担当課室	
達成率			16.7%		地域環境課	

指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
水環境・水資源	水道用ダムの貯水状況及び月間降水量の県ホームページにおける公表		水道用ダム貯水状況：24回 月間降水量：12回	水道用ダム貯水状況：24回 月間降水量：12回	順調
	実績値	水道用ダム貯水状況：24回 月間降水量：12回	水道用ダム貯水状況：31回 月間降水量：12回		担当課室
	達成率		100%<		水環境対策課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
希少種モニタリング実施回数	目標値		25回以上	25回以上（毎年度）	順調
	実績値	—	37回		担当課室
	達成率		100%<		自然環境課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
法令規制及び保全活動事業により守られた生物多様性を構成する野生動植物の種類（種）	目標値		65種	77種（R7年度）	順調
	実績値	59種（R1年度）	73種		担当課室
	達成率		100%<		自然環境課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
生物多様性保全事業等実施箇所数	目標値		58件	70件（R7年度）	順調
	実績値	52件（R1年度）	62件		担当課室
	達成率		100%<		自然環境課
指標		基準年度	R3	最終目標（年度）	進捗状況
県指定鳥獣保護区面積	目標値		42,028ha	42,028ha（R7年度）	順調
	実績値	42,028ha（R1年度）	42,028ha		担当課室
	達成率		100%		自然環境課